

## <水球陣>東日本リーグ第3戦

### H25.3.3 対全慶應大 @慶應大学日吉キャンパス

全東大 2202 計6

全慶應大1074 計12

得点者：三宅さん（1）、下東さん（4）、横山さん（1）

泳力では確実に全慶應大が勝っている。よって、泳ぎ合いにならないよう、試合のテンポを遅め、時間をかけてじっくり攻め、勝利を目指す。

#### 第1ピリオド

全慶應大がセンターボールを取り、第1ピリオドが開始された。先制点は全東大！三宅さんが鮮やかに5mシュートを決めた。数分泳ぎ合いになるが、全東大側も遜色ない泳ぎを見せ、得点を与えない。その展開を打開したのは全東大。横山さんのフローティングから2点目をもぎ取った。その後、相手のミドルシュートがディフェンスのハンドアップに当たり、運悪く失点を許すものの、流れは変わらず、2-1で第1ピリオドを終えた。

#### 第2ピリオド

第2ピリオドは、全東大が攻守ともに強さを見せた。開始早々、下東さんがキーパーの隙を突き、ループシュートで先制点を上げる。その後、泳ぎ合いが続くが、キーパー疋田の好セーブや、締まったディフェンスにより得点を与えない。そして、退水セットからまたしても下東さんが得点し、流れは完全に全東大ペース。そのまま失点を許さず、2-0で第2ピリオドを終えた。

#### 第3ピリオド

前半を終えて、スコアは4-1。勝てる！しかし、第3ピリオドで全慶應大は猛反撃を見せる。全慶應大のカウンターに次ぐカウンター。第2ピリオドまでは、泳力差が顕在化しなかったが、後半に入り、徐々にその差が露わになる。全慶應大の再三のカウンターにより、ほとんど毎回、全東大側はひとり少ない状態でのディフェンスを余儀なくされ、失点を重ねる。終わってみれば、0-7。最悪の形で最終ピリオドを迎えることになった。

#### 第4ピリオド

第3ピリオドの最悪の流れを何とか断ち切りたい。そのためには、何としても先制点をとりたい。そして、先制点を取ったのは全東大。カウンターからの2-1で、下東さんが落ち着いて決めた。その後数分はお互いに得点を上げられないが、その流れを切ったのはまたしても下東さん。退水セット外周から鮮やかに得点する。この時点で、トータルでは6-8。十分追いつけるスコアである。この流れのまま畳みかけたい！しかし、全慶應大は甘くなかった。その後、カウンターから失点を重ね、気が付けば連続4失点。対して、全東大側の得点はなく、第4ピリオド2-4、トータルで6-12でゲームセット。

前半は、良い形で試合を運んでいたが、後半に入ると、全慶應大との泳力差が如実に現れ、失点を重ねることになり、結果としてダブルスコアでの敗北を喫してしまった。やはり、泳力がなくては絶対に勝てはしない。全東大にとっては、大きな課題の残る敗戦となった。

監督を務めて下さった井出さん、試合に参加して下さいました飯塚さん、堀江さん、三宅さん、有吉さん、下東さん、横山さん、そして試合を観に来て下さった菜々さん、只野さん、ありがとうございました。

(文責 浪間新太)